I. キリスト教・新約聖書 / Bibles & The New Testament

001「ヒネブラ（ジュネーブ）のベアトゥス写本」付：解説巻　ジュネーブ図書館所蔵

Beato de Ginebra.

限定 898 部

11th Century. Biblioteca de Ginebra.
194 p. incl. 65 illus. 250×160mm. Limited to 898 copies. Burgos: Siloe, 2012.
Language: Latin.
With commentary volume in Spanish（解説巻：2013 年刊行）(0240) G.C. 18574
本文：ラテン語

ジュネーブの図書館に寄贈された写本の山のなかから、2007年に新しく65点の挿絵入りベアトゥス写本が発見された。11世紀中葉から世紀末の間に南イタリアのベネベントで製作されたものであり、イベリア半島外で製作された作品としてはサン・スヴェール版に続く2例目である。その写本のファクシミリ版である本書は、大きさから質感、字体、紙の重量まで尊重し、綿密に忠実に再現している。

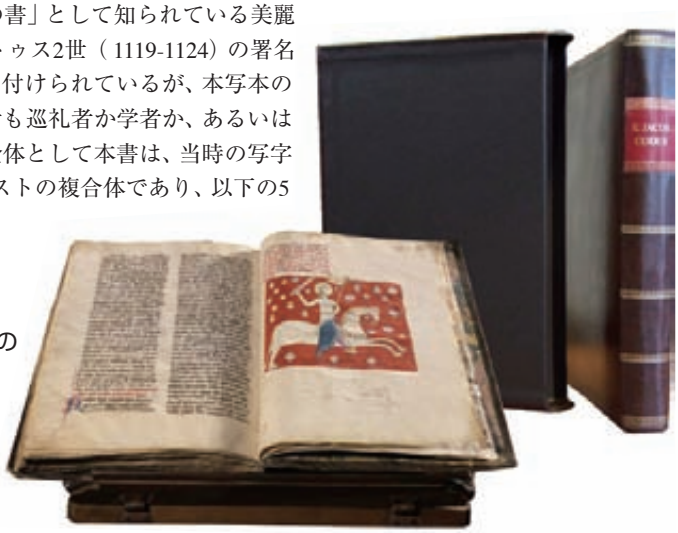
本写本には、そのモデルとして使われたテキストの起源についての古文書学的に興味深い疑問が残っており、ベネベント出身の修道士がスペインで製作したものとも、スペインのモデルに基いてイタリアで制作されてものとも言われている。また、当時はモンテ・カッシーノで製作された写本が西洋世界において称賛されていたことから、後にローマ教皇ウィクトル3世（Papa Victor III, 1026-1087）となった修道士デジデリウスの時代のモンテ・カッシーノにおいて製作された可能性も語られている。65点に及ぶ細密画の多くは金色で彩られ、テキスト中に枠無しで挿入されており、その高い調和性は本写本の特筆すべき魅力のひとつとなっている。

002「カリクストゥス写本」付：解説巻　サラマンカ大学図書館所蔵
Codex Calixtinus de la Universidad de la Salamanca

限定898部

(Liber Sancti Jacobi. Manuscrito Iluminado, Latin. Circa 1325)
Ms. 2631. 14th Century. Universidad de la Salamanca.
246 p. 331×245mm. Limited to 898 copies.
Burgos: Siloe, 2012.With commentary volume in Spanish
（解説巻：2013 年刊行）(0240) G.C. 18732　本文：ラテン語

スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラで1325年頃に制作され、伝統的にサラマンカのカリクストゥス、そして現存する数少ない完全な「聖ヤコブの書」として知られている美麗彩飾写本のファクシミリ版。法王カリクストゥス2世（1119-1124）の署名があることから「カリクストゥス写本」と名付けられているが、本写本の原書の製作地は今に至るも不明であり、著者も巡礼者か学者か、あるいは使徒聖ヤコブの崇拝者とも言われている。全体として本書は、当時の写字生、詩人、音楽家、作家や神学者によるテキストの複合体であり、以下の5部構成になっている。



第1部：典礼の書
第2部：奇跡の書
第3部：聖ヤコブの体のサンティアゴへの移送
第4部：カール大帝征服の歴史
第5部：巡礼ガイド

特に最後の巡礼ガイドの部は本書の最も有名な箇所であり、フランスからスペインを経てサンティアゴに達するまでのさまざまな経路を詳述したガイドであると共に、地方の伝統や習慣と使徒をめぐる伝説の解説も含んでいる。示唆に富む挿画や装飾頭文字も美しく、謎と神秘性に満ちた真にユニークな作品の貴重な集成であると共に、中世の生活と思想への知識と洞察の豊かな源である。その比類なき独創性は、数世紀を経て本書の価値を大きく高めている。

003 聖ヒルデガルトの「道を知れ」付：解説巻　聖ヒルデガルト修道院所蔵

Liber scivias.

限定99部

Facsimile edition. Limited to 99 copies.
Abbey St. Hildegard, Rudesheim, Rupertsberg, around 1175.
Graz: ADEVA (Adademische Druck u. Verlagsanstalt), 2012 (Oct.).
ISBN: 978-3-201-01963-7
Language: Latin. With Commantary and translation volume in German. (0270) G.C. 18734
本文：ラテン語

豪華版 (Luxury Edition)　通常版 (Normal Edition)

中世ドイツのベネディクト会系女子修道院の創設者および修道院長として、聖ヒルデガルト・フォン・ビンゲン（Hildegard von Bingen, 1098-1179）は、西洋世界において最も受容され、称賛され、崇拝されてきた中世女性のひとりであり、そのカリスマ性は時代を超えて、今に至るも輝き続けている。

本書Liber scrivasは、聖ヒルデガルトの最初の神学的･宇宙論的な予言的指導書である『道を知れ（Scivias）』の、1175年に製作されたルーペルツベルク版文書のファクシミリ版である。

本文書は、ヒルデガルトがルーペルツベルク修道院の修道女として活動していたころの版で、35点の素晴らしい細密画を含む、最も豪華で豊かに装飾された写本であった。幻想的な表現で語られているキリスト教の神学的な寓話が、装飾画での金箔と強い色の使用により強いインパクトをともない、独創的な傑作となっている。宇宙（マクロコスモス）と人間（ミクロコスモス）との切り離すことのできない一体性を論じ、人間のみならず世界や宇宙の救済への道を示している。また、ヒルデガルトが「Visio（ヴィシオ）」と表現した幻視体験も本書で初めて示されており、10年以上を費やして執筆した本書は、予言者、教師、作家およびキリスト教神秘主義者としての本領を発揮したものであった。

本文書は1632年まではルーペルツベルク修道院に所蔵されていたが、世俗化の過程でヴィースバーデン州立図書館に移った。オリジナルは1945年の第二次世界大戦の混乱の間に失われてしまったが、第二次世界大戦で1927年から1933年の間に修道院に移され、修道女たちによって6年がかりで書写されていたため、この貴重な宝物は守られ、この度のファクシミリ版での再現が可能となったのである。

004「ブルージュの円形時祷書」付：解説巻

CODEX ROTUNDUS.

限定480部

Hildesheim, Dombibliothek Hildesheim, Hs. 728, Bruges, end of 15th century.
The Facsimile Edition,
complete manuscript in original format of 9,3 cm
with true-to-original border cutting and original colour down to the smallest detail.
The leather edition protected by a hand-made red leather cover with three clasps,
in a case along with the commentary volume.
Strictly limited to 480 copies only.
Graz: ADEVA, 2011 (Dec.) (0270) G.C. 18737
本文：ラテン語、フランス語

在庫

15世紀ブルージュにて製作された極めてユニークな写本!!

15世紀末にブルージュにて製作されたと考えられている、ヒルデスハイム大聖堂図書館所蔵の円形の細密写本のファクシミリ版。

豪華な製本や挿絵、贅沢な金や銀の装飾、マゼンタ色の羊皮紙への記述など、中世や初期近代の文化は傑出した素晴らしい写本を数多く生み出してきた。本書は、その小さなサイズと形態において極めてユニークな魅力を持つ時祷書の写本である。ラテン語とフランス語による266ページの時祷書が、直径9.3cmの円形にカットされており、3つの留め金と3cmの背によって製本されている。

ボーデ・ブリンクマン教授によって編集された附属の解説巻では、本写本の出現と歴史に焦点を当て、細密画、装飾頭文字、および全体の芸術的構成についての詳細な科学的解説を提供されている。

005「聖ルパート詩篇」付：解説巻　聖ペテロ大修道院図書館所蔵

The Psalterium Sancti Ruperti.

限定881部

Facsimile Edition. Limited to 881 copies.
The standard edition in a fine piano black cartridge.
117 folios, in a piano lacquer finished with wooden case.
Original: Salzburg, Library of St. Peter, Cod. A I. 0,
Salzburg, 3rd quarter of the 9th century.
Graz: ADEVA (Adademische Druck u. Verlagsanstalt), 2007.
Language: Latin. With a commentary volume in German
(0270) G.C. 18735　本文：ラテン語

オーストリアの地で最も歴史のある図書館、ザルツブルクの聖ペテロ大修道院図書館所蔵のユニークな極小写本『聖ルパート詩篇』のファクシミリ版。細部まで原書に忠実に再現されており、中世初期の美と精神世界についての完全に歪みのない洞察を提供している。原本を高いクオリティで忠実に再現するため、最新の製造設備やX線撮影技術を導入し、最新の注意を払って撮影・製本された。特に木製カバーの固定はミリメートル単位で行われ、極めて高い集中力と長年の経験を要する作業であった。

コンピューターを利用したデザインと印刷技術により、今日では極小書物の製作はさほど困難ではないが、マッチ箱の大きさに読みやすいテキストを書き込むとなると、それはほとんど不可能に近い偉業である。37 x 31mmのページに18行で構成された、疑いなく偉大な腕前で書かれた作者不明の驚くほど小型の貴重な写本である本書は、北東フランスにおいて9世紀後半に製作されたカロリング朝の詩編と考えられている。15世紀の文書の冒頭にあった「Manuale psalterii sancti Rudberti episcopi（聖なる司教ルパートの詩篇の取扱説明書）」との記述により、ザルツブルクの聖ペテロ大修道院の創設者であった聖ルパートが所有者であったとされており、本写本の通称ともなっているが、確かなことは明らかになっていない。本写本はステータスシンボルとしてというよりは実用的なものとして製作されたものであり、その原本の豊富に取り扱われた痕跡から、所有者が携帯していたものと想像することができる。

ローマン・ラスティック書体による朱塗りのタイトルや金色の頭文字により、祈祷と詩の冒頭部分が見つけやすくなっており、深紅色の背景に金文字で書かれたテキストの箇所や詩編1, 51および101における金色の装飾頭文字などは、この豪華な写本の顧客が王室であったことを示唆している。また、本書の製本技術は、これまでは中世後期までさかのぼることができたものであり、中世初期の写本としては極めて珍しい文化遺産である。

006「ゲティの黙示録」付：解説巻　J・ポール・ゲティ美術館所蔵

The Getty Apocalypse.

限定 1,000 部

London: Folio Society, 2011.
Limited to 1,000 numbered copies.
Quarter-bound in Wassa Goatskin with vegetable parchment sides.
Printed and blocked in four foils with a design by David Eccles.
92 pp. with 82 miniatures.
Printed on Furioso paper with gilded and shuffled page edges.
Ribbon marker.
Book size: 32.38 x 22.86 cm
With commentary volume bound in buckram. 136 pages.
Presented in a buckram-bound solander box.
(0270) G.C. 63254　本文：ラテン語

英国中世芸術の傑作の初の再現

13世紀半ば、英国において目覚しい想像的芸術が花開いた。影響力のある説教師たちが世界の終焉を警告し、新約聖書のヨハネの黙示録の写本の需要が急増。テキストは短いものの、芸術家たちは華々しく幻想的な画像でそれに対応した。それらの現存する写本の中で最高なものの一つ、ゲティ黙示録がファクシミリ版として初めて提供されることになった。

ゲティ黙示録は13世紀半ばの最高の英国芸術の成果である。それぞれのテクストの上部に描かれた、80点を超える中世最高の素晴らしい細密画が、神の啓示を壮麗に表現し、ヨハネ黙示録の詩的で劇的な画像に読者を導く。的確な構成感覚を備えた巨匠が描く絶妙な金と銀の彩色による描写、素晴らしい色彩への理解、そして動作と表情を表現する類まれな才能。より豪華に金色を使用し、より大きく、より特異な写本が数多いが、これほど優れた特徴が独創的に混合された写本は他に無い。

ゲティ黙示録の重要な特徴は、精緻な装飾を施した42点の装飾頭文字である。そのいくつかは宗教的な象徴性であるが、多くは主に楽しませることを意図したものである。本黙示録を作成した芸術家は、曲芸師からイソップ寓話の描写に至るまで、世俗的なシーンを謹んで作成した先駆者であった。

007 時祷書「魂の庭」 個人所蔵コレクション
Le Jardinet de l'Âme.

限定898部

Private Collection.
Amiens, 1569.
204 p. 135×95mm. Limited to 898 copies.
Burgos: Siloe, 2010.
本文：古フランス語

そのユニークで繊細な構成と豊富で印象的な細密画において高い完成度を誇る時祷書のファクシミリ版。1569年、フランス北部のアミアンにおいて製作された。聖母子、キリスト生誕、受胎告知、少年に姿を変えたキリストをそうとは知らずに背負って川向こうまで運ぶ聖クリストファー、聖ドミニコ、聖ウルフィア、マグダラのマリア、聖フランシス、聖ニコラスなどの当時の著名装飾画家A.B. Normandによるものや、隠者聖アブラハム、十字架のキリスト、エジプトの聖マリア、聖ゲルトルーディス、聖キャサリンなどの署名の無いものまで、美しい細密画を豊富に含んでいる。また、人間の顔、頭蓋骨や風景に彩られた装飾頭文字、植物、果実、幻想的な動物、魚、驚異的なリアリズムに彩られた縁取りも本書の特徴である。

008「グリマーニの聖務日課書」

Breviario Grimani Facsimile.

限定750部

[ms. Lat. I 99 = 2138 della Biblioteca Nazionale Marciana di Venezia]
A volume, whose size is 280 x 215 mm (outside: about 300 x 225 mm), with 834 + 1 cards (= 1670 pages), bound with red silk velvet mounted on wooden boards; 5 strings hand sewing, a round spine and the creation of two capitals; gold cuts, with small needles hand engraving; two plates application of gold friezes, exactly the same as the original ones, some leather straps velvet lined are fastened to the friezes for the tightening of the volume; fabric guards and counter guards.
Rome: Salerno Editrice, 2009. (0270) G.C. 63015　本文：ラテン語

フランドル地方におけるルネサンス芸術の不朽の記念碑！

ヴェネチアのマルチアーナ図書館所蔵の至宝「グリマーニの聖務日課書」のファクシミリ版。「グリマーニ聖務日課書」として知られている写本は、14世紀から15世紀のルネサンス期フランドルの彩色写本の中でも最高傑作の一つである。製作依頼者の名は不明であるが、マルゲリータ・ダウストリア（Margherita d'Austria）が所有していたものを、枢機卿ドメニコ・グリマーニが500ダカット金貨で1520年頃に購入し、「特別な機会においてのみ重要な人々のみに見せる」べく、ヴェネチア共和国にもたらしたと知られている。1781年まではサンマルクの至宝の一つであった。

835葉（1670ページ）から成る本写本は、アントニオ・グリマーニ総督とドメニコ枢機卿を描いた円形浮き彫りと共に、真紅のベルベット地にエレガントなフレーム装飾で製本されており、120点のフルページの細密画のみならず、様々な宗教的・世俗的トピックや全ページにわたる豊かな装飾を誇っている。装飾頭文字から始まる記述は鮮やかでエレガントであり、全体は厳密かつ繊細に金箔で装飾されている。

普遍的な芸術的傑作として極めて有名でありながら、これまで十分な複製版が生産されなかったがゆえに未知の名作と言われてきた写本の、待望の最高品質のファクシミリ複製版である。

009「ロベルト・ド・リール 詩篇」付:解説巻　大英図書館所蔵

The Psalter of Robert de Lisle.

限定450部

MS Arundel 83 II, f. 117-15v [Original held in the British Library]
English Commentary by The authoritative scholar: Lucy Freeman Sandler
450 Copies. 39pp. 23x34.5cm . Hardcover
978-88-95847-04-7
Scripta Maneant srl, August 2008. (0270) G.C. 18014　本文：ラテン語、フランス語

在庫

14世紀英国の重要彩色写本のひとつである、大英図書館所蔵ロベルト・ド・リール詩篇（The Psalter of Robert de Lisle）のファクシミリ復刻版。金箔細工を含め、原書における熟練工による最高品質の手細工技術を再現している。

本写本は多くの学者によってきわめて高い評価を得てきており、その挿絵は14世紀における最高のものと位置づけられている。特に、「The Magnificent Virgin and Child」や「The Crucifixion」は高く賞賛されており、「Christ in Majesty」や英国の壁画の作品なども特筆すべきものである。

ロベルト・ド・リール(Robert de Lisle)によって製作された本写本は、1339年に彼の娘であるAudereに、彼女の死後はその妹であるAlborouに、そして最後はChequesaundesのギルバート会女子修道院に寄贈されるように規定されていた。その後、最終的にノーフォーク公爵に購入され、さらに英国王立協会に寄贈された。現在は大英図書館にMedieval Arundel Collectionの一部として所蔵されている。

010「カスティーリャ女王フアナ（狂女王フアナ）の時祷書」付：解説巻　大英図書館所蔵
The Hours of Joanna I of Castile, Joanna the Mad.

限定987部

The British Library, London. Add. Ms. 35313. c. 1500.
482 illustrated pages with 75 full-page illuminations. 237 x 163 mm.
Bound in brown leather embossed with gold, in leather case.
Language: Latin. With commentary volume (432 p.) in Spanish & English.
M.Moleiro, 2005. ISBN: 9788496400160 (0270) G.C. 63246　本文：ラテン語

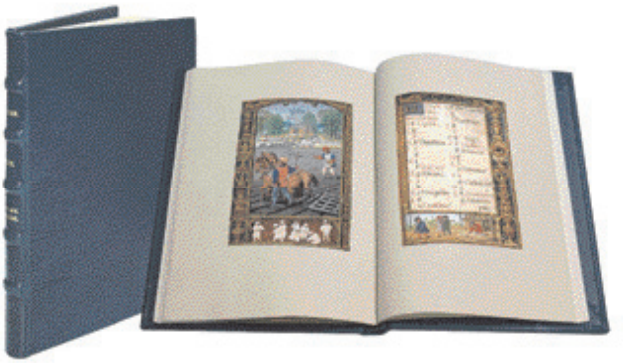
この素晴らしい時祷書の装飾画は、16世紀フランドルを代表する写本装飾画家ヘラルト・ホーレンバウト、およびSuffrages of the Saintsの大半の細密画を手がけたアレクサンダー・ベニングと彼のアトリエによるものである。細密画は三次元のリアリズムと卓越した洗練、とりわけ受難伝の装飾に特徴付けられている。喜怒哀楽に満ちた表情と描かれた場面の活気とリアリズムにより、本写本はヘラルト・ホーレンバウトによる最も印象的な作品と評価されている。その贅沢さにより、本写本は君主の依頼によるものであったと考えられており、サン・フアン・バウティスタ、サン・ファン・エバンヘリスタ、サン・イルデフォンソやサン・イシドロへの言及により、その人物はスペイン王室のメンバー、「狂女王フアナ」という異名で知られているカスティーリャ女王フアナであったと考えられている。

011 時祷書「ゴルフの書」付：解説巻　大英図書館所蔵
The Golf Book (Book of Hours).

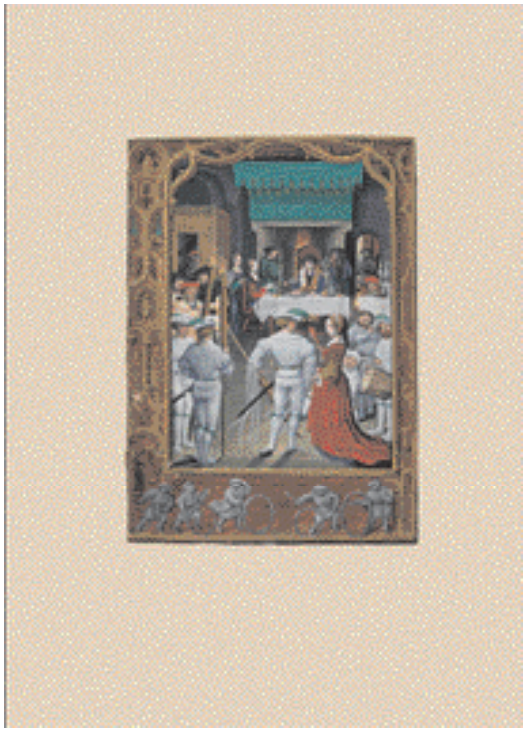
限定 987 部

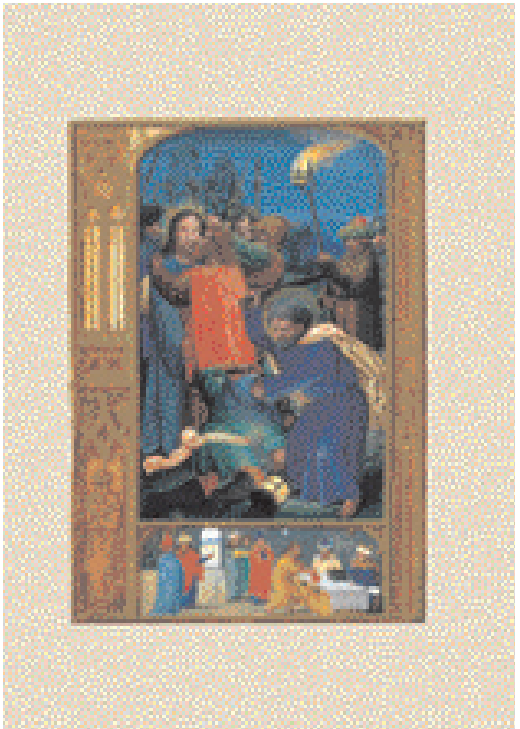
The British Library, London
Shelf Mark: Add. Ms. 24098. c. 1530.
60pp., most of them with full-page illuminations
Size: ± 220 x 145 mm. Size of the illuminations: ± 115 x 84 mm
Bound in blue leather. Leather case. With commentary volume (256p.) in Spanish & English.
Language: Latin. Work by Simon Bening
M.Moleiro, 2004. ISBN: 9788488526991 (0270) G.C. 63247
本文：ラテン語

この格別な時祷書の制作者は不明であるが、その最大の興味深い特徴は本写本の下部に描かれている、当時の典型的なスポーツ活動や娯楽に関する一連の図像である。そのスポーツの試合のひとつがゴルフであったことから「ゴルフの書」と名付けられたものの、本時祷書の各ページは、16世紀の典型的な日常の仕事やレジャー活動を描いた多くの細密画によって特徴づけられている。



著名装飾画家であったアレクサンダー・ベニングの息子、サイモン・ベニングは、1483年にゲントに生まれ、1500年前後、彼はブリュージュとゲントにて働き始め、1519年頃に最終的にブリュージュに定住。彼の作業場では、ヨーロッパ全域における上流階級の人々のために、真に卓越した数多くの時祷書を制作。78歳で1561年に死去するまでに、ブランデンブルク枢機卿アルブレヒトの祈祷書（ロス・アンジェルスのJ・ポール・ゲティ美術館）とダ・コスタの時祷書（ニューヨークのピアポント・モーガン図書館）などの注目すべき作品を産み出した彼は、疑いなく当時の最も有名な細密画家であった。



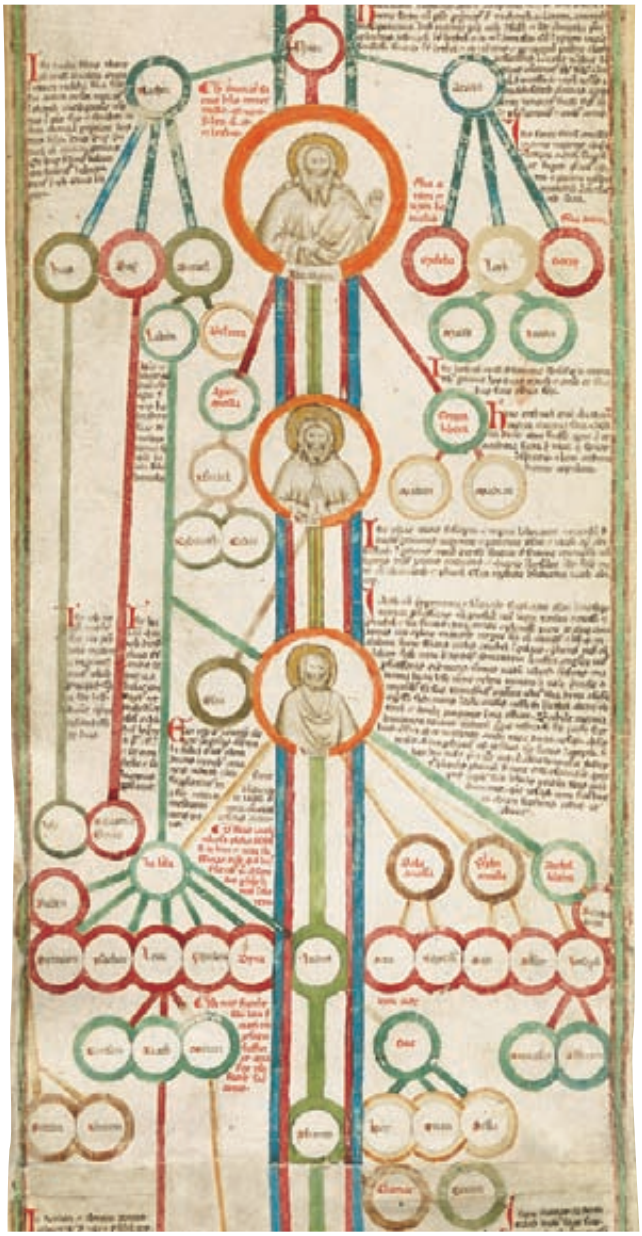


012「キリストの系譜」付：解説巻　カサナテンセ図書館（ローマ）所蔵
Genealogy of Christ.

限定987部

Casanatense Library, Rome
Tuscany (Italy), c. 1320-1340.
Contains suggestive miniatures from the Venetian school bearing the stamp of Giotto.
A Biblical history with illuminated genealogical trees. Leather case.
Facsimile ed. Barcelona: Moleiro, 2000. ISBN: 9788488526496
With Commentary volume in English & Spanish (164 p.). (0270) G.C. 72863　本文：ラテン語

1193年から1205年までパリ大学学長を務めたピエール・ド・ポワティエにより、教育目的で製作されたキリスト系譜のファクシミリ版。その意図は、彼の生徒への教育に活用するために、そして書物の代金を支払うことができない貧しい聖職者のための学習援助として、簡明な解説書を作成することであった。それゆえ、彼は、全体の内容を一目で見ることができるように、教室の壁に固定するための一片の羊皮紙上の系図の形態で旧約聖書の物語を表示。聖書で語られている人物や状況は複雑であるため、彼はキリストを頂点とした歴史において最も重要なものの大要を作成した。作品は大変成功し広く読まれ、13世紀から15世紀にかけてつくられた50部が現存した。



。

本書は、創世記 5.1と6.9、マタイ伝1.1-17など聖書に基いた古代の神学的伝統から生じたキリスト教における6つの時代区分で構成されており、最初の5つの時代はアダム、ノア、アブラハム、ダビデとセデキアという5人の旧約聖書の登場人物より始まり、第6の時代はキリストの受胎告知から磔刑の場面で終了している。また、特筆すべき本写本の特徴として様々な色彩の使用法があり、登場人物の性別、社会階級や時代の区別のために用いられている。例えば女性の名前は緑に囲まれた円の中、男性の名前は赤で囲まれた円の中に表示され、赤と黄土色は君主、青は預言者に使用されている。そして第1の時代は黄土色、第2は赤、第3は緑、第4は赤、第5は青、第6は山吹色というように、時代区分ごとに異なる色で表示されている。

013「祈祷書（ガードル・ブック）」付：解説巻　ロシア国立図書館所蔵

限定60部

Liber Precucm - Girdle Book.

St. Petersburg, National Library of Russia. Ms. Lat.O.v.1.206.
198 pages (Vita Christi-Zyklus, 99 folios), 41 full-page miniatures. 95 x 130 mm. All leaves are trimmed in according to the original.
Binding: blind embossed leather binding with two clasps and four genuine raised bands.
Graz: Adeva Akademische Druck- u. Verlagsanstalt, 2010. G.C.18360 (0270)

本文：ラテン語

在庫

持ち運びのできる時祷書の彩色写本

1480年から1490年の間にケルンにて「ガードル・ブック」として製作された祈祷書（Liber Precum）の彩色写本のファクシミリ版。原寸が95ミリ×130ミリ、1ページ大の彩色細密画が41枚含まれている。空押し加工を施した革には留め金が二つと本物の背バンドが4つ付いている。サンクトペテルブルク大学のMargarita G. Logutovaとバークレー大学のJames H. Marrowによる、写本の起源・内容・刊行の歴史や美術史における写本の重要性などに関する英・ドイツ語による詳細な学術的解説が付属している。

中世後期から今日に至るまであまり知られることの無かった本書は、当時作られた数えきれないほどの祈祷書の中でも、愛書家や研究者の関心を大いに惹きつけるであろう魅力的な特長を具えている。その優れたテクストの選択もさることながら、最大の特徴はキリストの生と受難を描いた挿画であり、それは、機能、主題、豊かさにおいて15世紀の装飾本の真の頂点をなすものである。

「ガードル・ブック」は、中世の修道士・聖職者・貴族が身に着けていた携帯用の小さな本で、14世紀頃に普及した。本の皮装を表紙の先まで細長く伸ばして端に大きな結び目を作り、帯やベルトに装着して持ち運び、上に抱え上げればすぐに読めるようになっている。時祷書や聖務日課書などの宗教書を持ち歩くという宗教的な役割と、盗難や風雨から貴重な書物を守るという実用的な機能、そして社会的地位や富や学識を有することを目に見える形で示すという意味を併せ持っていた。

014「フォラウ聖書」全4巻　付：解説巻4冊

限定480部

Die Vorauer Volksbibel.

Southern Germany, 1467. Monastery Library Vorau, Codex 273.
Complete colour facsimile edition of the 920 pp. (fol. 1-458) in original size (405 x 285 mm). With 559 coloured pen-and-ink drawings and numerous initials. Binding: leather (true copy of the original binding). All folios are cut according to the original.
Limited 480 copies.
Graz: ADEVA (Adademische Druck u. Verlagsanstalt), 1981-1991. G.C.18411 (0270)

本文：ドイツ語

1. The New Testament:
   Facsimile: Graz 1989. 206 pp. (fol. 355v-458v) with 120 coloured pen-and-ink drawings and 3 historicized initials.
   Commentary: F. Hutz, Vorau. 34 pp., 435 x 300 mm, hard cover.
2. The Old Testament I:
   Facsimile: Graz 1990. 246 pp. (fol. 1r-123r) with coloured pen-and-ink drawings throughout and initials.
   Commentary: F. Hutz, Vorau. 36 pp., 435 x 300 mm, hard cover.
3. The Old Testament II:
   Facsimile: Graz 1991. 220 pp. (fol. 123r-232r).
   Commentary: F. Hutz, Vorau. 36 pp., 435 x 300 mm, hard cover.
4. The Old Testament III:
   Facsimile: Graz 1993. 248 pp. (fol. 232r-355v).
   Commentary: F. Hutz, Vorau. 36 pp., 435 x 300 mm, hard cover.

ドイツ語による最も美麗な聖書

1467年に製作された「フォラウの庶民のための聖書」の、色使いや紙の質感に至るまで原本を詳細・忠実に再現したファクシミリ版。原本の製作者は知られていないが、南ドイツ地域の聖職者と考えられている。経緯は不明であるが、本書が至宝と見なされだした頃の1733年以来、オーストリアのフォラウ図書館の所蔵となった。注意深く書かれた本文は赤く、頭文字は赤と青で装飾されている。特筆すべきは559点にわたる細密画であり、歴史に残っているおよそ100点のドイツ語版聖書の中でも、本書はその芸術的センスにおいて最も優れたものである。表現主義的な味わいのそれら細密画は、本文の内容を説明し、写本全体を装飾する役割を持っていたが、現代人にとっては当時の服飾、装飾や人々の生活に関する無尽蔵の情報源ともなっている。

本文はバイエルン・オーストリアの方言で書かれており、新約聖書1巻と旧約聖書3巻の計4巻構成となっている。

015「ヴェンツェル聖書」付：解説巻　オーストリア国立図書館所蔵

限定780部

Die Wenzelsbibel.

Prague, 1389-1400. Vienna, Austrian National Library, Codices Vindobonenses 2759-2764.
9 vols.(8 facsimile volumes and 1 volume with documents) in 5 units+ 2 commentary volumes. 2,428 pages of the manuscript are reproduced in the original format of 530 x 365 mm, compiled in 9 volumes and totalling 464 miniatures and countless drolleries.
2 commentary volumes by G. Schmidt (Vienna), H. Heger (Vienna), I. Hlav cek (Prague). F. Unterkircher (Vienna).
Binding: leather. All folios are cut according to the original size and sewn according to the original gathering. Facsimile in solid slip case.
Limited edition: 780 numbered copies.
Graz: ADEVA (Adademische Druck u. Verlagsanstalt), 1981-1991. G.C.18419 (0270)

本文：ドイツ語

ドイツ語による最初の聖書彩飾写本

西暦1390年から1400年の間に、ボヘミア王ヴェンツェル1世の命により、646点の細密画と豊富な象徴的・物語的な欄外装飾に彩られたドイツ語による、最初の聖書彩飾写本がプラハにて製作された。実に、ルターによるドイツ語聖書の刊本が刊行される約150年前のことである。当初は旧約聖書2巻と新約聖書1巻の計3巻の予定であったが、出来上がったのは旧約聖書部分のみであった。その後、18世紀にボヘミアの宮廷からハプスブルク王朝に所有者が移り、現在はオーストリア国立図書館に所蔵されている。

このユニークな写本の精巧で極めて豪華な挿絵は、残念ながら名は残っていないが、ヴェンツェルによってプラハに招聘された当時ヨーロッパで最高の挿絵画家たちであった。ヨーロッパ装飾画の成果として美術史家の関心を集めている本書は、宗教改革以前の翻訳聖書としてそのテクストも重要である。ユーモアのセンスに富んだ欄外装飾も魅惑的である。描写された主要な登場人物の一人に短いシャツのような衣服を着た少女がいるが、付属物のバケツとスポンジは入浴する処女を意味するものである。彼女に付き添う男性像は恐らくヴェンツェル1世本人であると考えられる。彼はWやEの文字と共に頻繁に登場する。また、野蛮人やカワセミなど、数多くの寓話的な生き物も全編にわたって登場している。

各巻の構成

Vol. 1: 創世記と出エジプト記

Vol. 2: レビ記と民数記

Vol. 3: 申命記とヨシュア記

Vol. 4: 士師記、ルツ記とサムエル記 I

Vol. 5: サムエル記 II と列王記 I

Vol. 6: 列王記 II と歴代誌 I

Vol. 7: 歴代誌 II、エズラ記 I とエズラ記 II

Vol. 8: エズラ記 III, トビト記と箴言

Vol. 9: 資料巻

016「ライヒェナウの典礼用福音書抄本」付：解説巻
ヘルツォーク・アウグスト図書館所蔵
Das Reichenauer Perikopenbuch.

Monastery of Reichenau, beginning of the 11th century. Wolfenbüttel, Herzog August Library, Cod. Guelf. 84.5 Aug 2°.
280 x 185 mm. with a commentary volume.
Graz: ADEVA-Akademische Druck- u. Verlagsanstalt, 2009. G.C.18417 (0270)
本文：ラテン語

〈豪華版〉 限定99部 表紙に象牙のレリーフ付

Worldwide limited to 99 copies only, the luxury edition is protected by a cover from the finest red leather. The front cover is a true-to-original rendition of the fantastic ivory relief which also adorns that of the precious original. This masterpiece of facsimile art is professionally stored in a luxury case.

在庫

〈革装丁版〉 限定400部

The leather edition is protected by a hand-made red leather cover. The edition is delivered in a slipcase along with the commentary volume.

金色に輝くライヒェナウの写本美術

オットー朝期の写本は印象的で壮大な装飾で知られており、金工芸の確かな技術と、カロリングやビザンティンなどの文化が取り込まれた結果、史上稀に見る作品を生み出している。中でも、ライヒェナウ修道院の写字室の写本装飾画家たちは中世ドイツの真に優れた技術と美しさを誇る文書を創造した。約1,000年前のオットー朝期、このライヒェナウの写本はハインリヒ2世の依頼により製作された新約聖書の典礼用福音書抄本である。全109の章句はキリスト暦に従って並べられており、特に重要な章句は金箔と輝く色彩とともに描かれた9点のフルページ細密画や、6点のフルページの装飾頭文字として強調されている。

本ファクシミリ版では、カロリング朝風に書かれた本文と共に、輝く金の背景色、壮麗なマゼンタ、縁のトリミングや多数の金色の頭文字など、細部に至るまで注意を払って原本に忠実に再現されている。

壊滅的な火災や戦争の混乱により、本写本の詳しい製作者や時期とその後の歴史については明らかになっていない。しかし1658年に、ブランシュヴァイク-リューネブルク（Braunschweig-Lüneburg, 1579-1666）の最年少の息子であり、17世紀の著名なコレクターであるとともにヴォルフェンビュッテルの図書館の創設者であったアウグスト公(Herzog August, 1597-1666)が本書を購入したことにより、ヴォルフェンビュッテルのヘルツォーク・アウグスト図書館（Herzog August Bibliothek）に所蔵されることになり、現在に至っている。

017「ダ・コスタの時祷書」付:解説巻　ニューヨーク・ピアポント・モルガン図書館所蔵
Das Da Costa Studenbuch.

Ghent/Bruges, ca. 1515. New York, Pierpont Morgan Library, MS M.399.
388 folios in the original format of 172 x 125 mm with a faithful edge trim and with colours authentically rendered right down to the last detail. With the gorgeously engraved gilt edging faithfully reproduced in line with the original. With a commentary volume.
Graz: ADEVA (Akademische Druck- u. Verlagsanstalt), 2010. G.C.18418 (0270)
本文：ラテン語

〈豪華版〉　限定 99 部　　在庫

緑のベロア革装（留金付）、金箔押しの赤い革ケース入り
The Luxury Edition is protected by a handmade cover of top quality green velours leather with two silver clasps. A true-to-the-original reproduction of the red leather luxury case with gold embossing is protecting the luxury edition.

-

〈革装丁版〉　限定 381 部
The Leather edition is protected by a handmade cover of top quality green velours leather. (0271)

ジーモン・ベニングによる 121 点の鮮やかな細密画

原本の光沢のある金箔コーティングや数多くの金の頭文字、ユニークな雰囲気、強く鮮やかな色彩まで精緻に複製した「ダ・コスタの時祷書」のファクシミリ版。本書は、当時のフランドルの写本彩色画の第一人者ジーモン・ベニング（Simon Bening, 1483-1561）によって創作された初期の写本のひとつである。1515年にスペイン人の顧客の依頼により製作された。本書のタイトルは、ポルトガル王マヌエル 1 世（1495-1521）の兵器係であり財務担当であったアルバロ・ダ・コスタ（Alvaro da Costa）にちなんでつけられたものである。ダ・コスタ家の歴史によれば、1515年に本写本は教皇レオ10世からマヌエル 1 世に贈られ、後にダ・コスタに譲り渡された。その後4世紀にわたりダ・コスタ家に所有されたが、1905年にロンドンの古書店Bernard Quaritchを経てフィラデルフィアの収集家George C. Thomasの手に渡り、1910年に米国の財閥創始者ジョン・ピアポント・モルガン（John Pierpont Morgan, 1837-1913）が購入した。

ゴシックからルネサンスにかけて大勢登場した彩色写本の製作を専門に行うヨーロッパの画家たちの中でも、ベニングは最も著名な人物のひとりであったと言われており、彼の作品は疑いなくオランダ彩色写本の伝統の絶頂であり最高の成果であった。彼の顧客の中には、アルブレヒト・デューラー（Albrecht Dürer, 1471-1528)やルーカス・クラナッハ（父）（Lucas Cranach der Ältere, 1472-1553）、16世紀における最も重要な芸術家パトロンであった枢機卿アルブレヒト・フォン・ブランデンブルクも含まれていた。

018 世界最古の聖書「シナイ写本」 付：解説書

大英図書館ほか所蔵

Codex Sinaiticus. A Facsimile.

832 pages. 340 x 420mm. 320 colour illustrations.
ISBN: 9780712349987
British Library, 2010. G.C.18407 (0240)

本文：ギリシャ語

在庫

4世紀中葉に製作された「シナイ写本」は、「バチカン写本」（4世紀）、「アレクサンドリア写本」（5世紀前半）とともに「三大ギリシャ語聖書」とされ、現存する世界最古の聖書の一つである。ギリシャ語で書かれた「七十人訳聖書」として知られる旧約聖書と、古代ギリシャの共通語であったコイネーで書かれた新約聖書のほとんどを含んでいる。1844年にシナイ山の聖カタリナ修道院でドイツの聖書学者コンスタンティン・ティッシェンドルフ（Constantine von Tischendorf）によって発見され、ロシア皇帝に献上されたが、ロシア革命後の1930年代にスターリンによって英国に売却され、現在は大英図書館、ロシア国立図書館、ライプチヒ大学および聖カタリナ修道院に分散して保管されている。

本ファクシミリ版は、「シナイ写本」の歴史的調査、保存、デジタル化、翻字および普及を目指し、その大部分を所蔵する大英図書館が中心となり、他の所蔵3機関との協力の下に開始したシナイ写本プロジェクトの一環として刊行された。800以上のページや断片の再結合に成功した本プロジェクトは、聖書の歴史の上でも西洋製本史の上でも極めて意義深く、さらなる共同研究の機会を促進するものであり、初期キリスト教の発展や、聖書の文言が世代から世代にどのように受け継がれたかを探る上で極めて貴重な史料である。

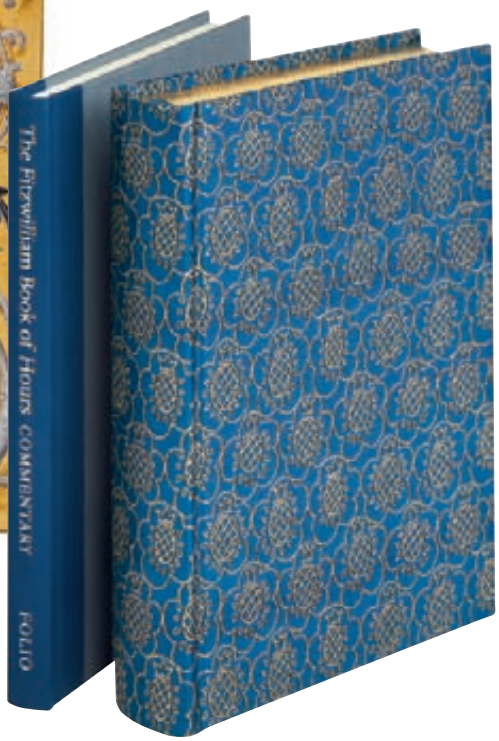
019「フィッツウィリアムの時祷書」付：解説巻
ケンブリッジ大学フィッツウィリアム美術館所蔵
The Fitzwilliam Book of Hours.

限定 1,180 部

Fitzwilliam Museum in Cambridge, MS 1058-1975.
144 pp. Bound in specially commissioned silk jacquard. Page edges stained and gilded on three sides.
Printed on Furioso paper with Hahnemuhle Bugra Butten endpapers.
Ribbon marker, 370pp. Presented in a cloth-bound solander box with gold blocking.
Commentary volume: quarter-bound in cloth with paper sides and inset title label.
Limited to 1,180 numbered copies.
London: Folio Society, 2010. (0270)　本文：ラテン語

全ページが書籍装飾画の最高傑作である壮麗な中世の至宝

ケンブリッジ大学フィッツウィリアム美術館は13世紀から16世紀にかけての世界の250点を超える時祷書写本を所蔵しているが、中でも1510年頃にブルージュにて製作された本写本は、美術的豪華さと豊かさ、およびほぼ完璧な保蔵状態において、突出したものである。フランドル地方の装飾美術の絶頂期に製作されたこの特別な作品は、63点の非常に手の込んだフルページ細密画と350点を超える縁飾りに彩られており、全ページが視覚的饗宴、自然主義美術の最高傑作とも言われている。



020「イザベラの聖務日課書」付：解説巻　大英図書館所蔵
The Isabella Breviary.

限定987部

Flanders, last decade of the 15th C. The British Library, London.
1046 pages, all illuminated. 230 x 160 mm.
Bound in embossed, brown leather. Full-colour commentary volume.
First, unique and unrepeatable edition strictly limited to 987 copies.
Barcelona: M. Moleiro, 2010. G.C.18423 (0270)

本文：ラテン語

聖務日課書の豪華フランドル写本

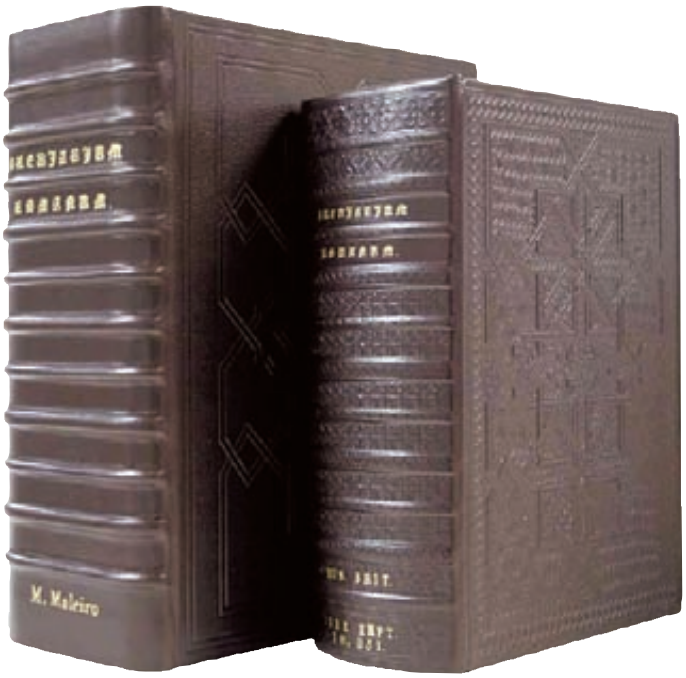
大英図書館所蔵の最も重要な至宝のひとつ、「イザベラの聖務日課書」のファクシミリ版。聖務日課書とは、時祷書などよりももっと詳しく祈祷の時間や方法が書かれた聖職者用の実用書である。原本は、聖職者のために聖歌、祈りや一日の務めをまとめた書物として、最も豪華なフランドルの写本と言われている。

各ページは当時のフランドルの一流画家たち6名によって極めて優れた技量で装飾され、比類なき美しさを誇る贅沢な写本に仕上がっている。

本書の豊富な欄外装飾もまた特筆すべきものである。ちりばめられた花々やアカンサスの葉や枝の模様が昆虫や鳥たちと共に織り込まれており、それは1490年代においては珍しいものであった。

本書「イザベラの聖務日課書」の原書は、1497年頃にフランシスコ・デ・ロハス大使からカトリック女王イザベラに、彼女の2人の子供の結婚を記念して与えられた。本書のフルページの挿絵には初代スペイン女王であったイザベラと夫フェルナンド2世、いわゆる「カトリック両王」の大鷲と使徒ヨハネの象徴入りの紋章が、そしてその下方に2人の子供たち夫婦の紋章が描かれている。

イザベラは1504年に死去したが、その後300年間の本写本の行方は分かっていない。ナポレオンの侵略の時代にエル・エスコリアルから略奪されたとも考えられているが、19世紀初頭に愛書家・銀行家であり英国議会の一員であったJohn Dentの所蔵コレクションのうちの一点として英国に現れた。その後また別の個人所蔵になったが1852年に大英図書館が購入し現在に至っている。



021「コルシーニ図書館のベアトゥス写本」付：解説巻

Beatus of the Corsini Library.

限定898部

12th Century. Biblioteca dell'Accademia, Nazionale dei Lincei e Corsiniana.
432 p., parchment, 167 x 97 mm. With commentary volume.
Limited to 898 copies.
Burgos: Siloé, 2010. (0240)　本文：ラテン語

愛好家や愛書家にとっての真の歓喜

12世紀に製作され、1723年にスペインのレオンのサアグーン修道院からコルシーニの枢機卿の手に渡った、コルシーニ国立アカデミー図書館所蔵の極めて貴重なベアトゥス写本のファクシミリ版。ベアトゥス写本の中でも小型であるが、そのことによってベアトゥス写本特有のユニークな魅力が深まっており、蒐集家や愛書家そして西洋史と写本の研究者にとって垂涎の書物となっている。ゴシック的要素と西ゴート的筆記の痕跡をとどめたカロリング書体で筆写され、極めて美麗な10点の細密画に彩られている。

022「司教フォンセカの時祷書」付：解説巻　聖カルロス・ボロメオ大神学校所蔵
Book of Hours of the Bishop Fonseca.

限定898部

15th Century. Real Seminario de San Carlos Borromeo (Zaragoza).
406 p. in fine vellum, with 46 full-page illustrations, plus 22 embellished with borders framing a text containing smaller illuminations. 185x125mm. Binding with beautiful antiquated silver clasps and a ease made of elm root wood. With commentary volume.
Limited to 898 copies.
Burgos: Siloé, 2010. (0240)

本文：ラテン語

ゲント・ブルージュ派の時代からのヨーロッパ時祷書の最も美しい実例

フランドルのゲント・ブルージュ派は彩色写本の製作を専門とする集団として15世紀から16世紀にかけて活躍し、数多くの美しい作品を残してきた。本書はそのメンバーであるハンス・メムリンク（Hans Memling c.1430-1494）とヘラルト・ダヴィット（Gerard David c.1460-1523）による1500年の作品とされている。46点のフルページの挿絵と、22点の縁飾り、銀の留め金付のカバーに彩られた、ヨーロッパの時祷書の中でも最も美麗と言われている写本のファクシミリ版である。当時のスペインの教会や国家に大きな影響力を持っていたブルゴス司教フォンセカ（Juan Rodriguez de Fonseca, 1451-1524）が所持していたが、現在はサラゴサの聖カルロス・ボロメオ大神学校（Real Seminario de San Carlos Borromeo）に所蔵されている。

023「イングランド王ヘンリー８世の祈祷書」付：解説巻　大英図書館所蔵

King Henry's Prayer Book.

限定980部

360 pages with illustrated capitals throughout and 7 full-colour miniatures, 216 x 146 mm. Edge-gilding on all sides.
Accompanied by a specially commissioned Commentary volume by Professor James P. Carley, the foremost expert on the library of Henry VIII.
Bound in buckram blocked in matt gold. 96 pages; colour frontispiece.
In a buckram-bound solander box, blocked in matt gold.
Limited to 980 numbered copies.
London: Folio Society, 2009. (0270)

本文：ラテン語

版元在庫僅少

書き込みまで再現した、ヘンリー８世の信仰と思考を体現する祈祷書

イングランド王室史上最高のインテリであったと言われているヘンリー8世（1491-1547）の個人用ラテン語祈祷書。1509年の即位からの500年目を記念し、ファクシミリ版として複製された。ヘンリー8世本人による書き込みなども忠実に再現されている。

本祈祷書はヘンリー8世が特に大切にしていた所有物であり、熟読され、本全体にわたって注釈がなされている。100箇所を超える欄外の書き込みも非常に鮮明に残っており、彼の個人的な思考や宗教的な関心へのこの上ない見識を与えてくれるものである。7つの細密画や、鳥、動物、草花などを描写した100を超える大文字も豪華で美しい。1757年まで王立図書館に残っていた彼の膨大な蔵書コレクションは、ジョージ2世によって大英博物館に移され、その後、大英図書館所蔵の歴史的文献の中核を成しているが、なかでも本祈祷書は最も重要な遺産と言えるものである。

024「ナポリ王ロベルトのモラリゼ聖書」付：解説巻　フランス国立図書館所蔵
Bible moralisée of Naples.

Naples, c. 1340-1350. Bibliothèque nationale de France, Paris.
384 pages, 204 illuminations with gold. Full-colour commentary volume. 310 x 210 mm.
Bound in brown leather.
First, unique and unrepeatable edition strictly limited to 987 copies.
Barcelona: M. Moleiro, 2009. G.C.18424 (0270)

本文：ラテン語

キリストの生涯と受難を描く高質なフルページ挿絵

ロベルト賢明王として知られるナポリ王ロベルト（Roberto I, 1277-1343）の要請により製作され、1350年代に完成した、豪華な挿絵入り抄録版聖書註解書のファクシミリ版。新旧約聖書から任意的に抜粋した場面とそれを解釈した注解とがひとつの対をなし、それぞれが挿絵とテクストによって説明されるという稀有な構成を持つ写本である。本書は、1240年頃にパリで製作され、ルイ9世の末弟であるアンジュー伯シャルル所蔵であった聖書をモデルに製作されたと言われている。（ルイ 9 世の母ブランシュ・ド・カスティーユは、「ルイ9世の聖書」（Item No.33）の製作を委任した人物である）。

聖書特有であった円形模様はここでは長方形のスタイルに取って代わっており、それはイタリア特有のスタイルであると共に、1300年ごろより多くの地域の新たな建築において開花したフレスコ画の流れに沿ったものであった。そのような文化的側面もまた、本写本に特別な趣を与えている。

本書は旧約聖書（創世記から士師記の途中まで）と新約聖書（ヨハネの会堂追放以降のサイクル）を含んでいる。極めて高質の挿絵に定評があり、キリストの生涯と受難を描いた新約聖書の76点のフルページ挿絵は美術史家が特に重視しているものである。

025「殉教者　聖マルゲリータと聖アニエーゼの伝説」
メディチ・リカルディ宮殿所蔵
Le Leggende di Santa Margherita e Sant'Agnese.

限定999部

A complete reproduction in pure 23-carat gold on CartaPergamena of Ricc. Codex 453, Riccardian Library, Florence.
Identical to the original 124 pages (the last 32 blank). 145 x 103 mm.
Bound entirely by hand according to the edging of the pages and the colours of the headband. Cover in blue silk velvet with gilded and silvered laminae and lapis lazuli.
Limited edition of 999 numbered and certified copies.
Castelvetro di Modena: Art Codex srl, 2008. G.C.18193 (0270)　本文：ラテン語

在庫

二聖女物語の細密画

4世紀の聖マルゲリータはアンティオキア総督の求婚を拒絶したために、3世紀の聖アニエーゼはローマの長官の息子の求婚を拒絶したために、それぞれ拷問され斬首によって殉教した。本書は2人の聖女の物語を細密画によって描写した、フィレンツェのメディチ・リカルディ宮殿所蔵の写本のファクシミリ版である。

13世紀後期、ある有力者の女性（ハンガリー王ベーラ4世の娘マルギトではないかとの仮説がある）の安産を祈願し、ボローニャの職人によって製作され捧げられた。当時、聖マルゲリータは困難な出来事における祈祷の対象とされていたためである。当時の洗練されたビザンチン様式による33点の人物画が、23金の金箔を背景にして優美に描かれており、小型ながらも極めて豊かで価値ある写本である。

026「1313 年のヨハネ黙示録写本」付：解説巻　フランス国立図書館所蔵
The Apocalypse of 1313.

Bibliothèque nationale de France, Paris. Fr. 13096.
334 pages, 162 miniatures (86 full-page illustrations). Illuminated with gold. 220 x 155 mm.
Full-colour accompanying volume of studies by Marie-Thérèse Gousset and Marianne Besseyre.
Barcelona: M. Moleiro, 2008. G.C.18411 (0270)　本文：ラテン語

光輝く色彩による地獄の細密画

本書の装飾画家Colin Chadelveによる署名と日付によれば、1313年に製作されたヨハネ黙示録写本のファクシミリ版。

写本に含まれる162点の細密画は、その豊かさと絵画的技術のクオリティによって並外れた特別なものになっている。地獄の光り輝く色彩とコントラストを成す金の色合い、および豊富な装飾画もまた、この文書の独自性を際立たせている。罪人たちは皮を剥がれ、鋸で挽かれ、金床で打たれ、大釜の熱湯や油に投げ込まれ、のみやトングで眼球を突かれるなど、細密画による無慈悲な拷問の描写が続く。

この写本はパトロンの強い要望を満たすために作製されたと考えられている。他の地獄を描写する文書と異なっているのは、拷問の恐ろしさがことさらに強調されている点と、挿絵画家の自由なイマジネーションにある。人物たちの身ぶり、場面の活気、多種の色彩と金の多用は、装飾画に極めて劇的な効果を与えている。画風は、14世紀初期におけるフランスの写本には珍しく、英国ゴシック様式の影響がうかがえる。黙示録の文章と製作者自身の解釈、および伝統的な図像モデルが見事に調和しており、前例の無い明快さがもたらされている。装飾写本の黙示録のゴシック的コンセプトへの重要な移行を構成し、より個人的な、心の奥底における熟考と瞑想のための祈祷書となっているユニークな作品である。

027「サン・ミリャン修道院のベアトゥス写本」 スペイン国立図書館所蔵
Beato "Emilianense".

限定898部

10th century. De la Biblioteca Nacional. Manuscrito Vitr.14-1.
300 pp., 350 x 250 mm. With 29 miniatures.
Bound: A full leather handmade cover in a conservation case.
Limited edition of 898 copies.
Burgos: Siloé, 2007. G.C.18056 (0240)
本文：ラテン語

スペイン国立図書館所蔵の至宝

8世紀スペインの修道士ベアトゥスは黙示録の終末のヴィジョン、審判・復活・救済の物語を、壮大で幻惑的な言葉と、鮮烈な色彩、力強いフォルム、生命力と躍動感に溢れる挿絵群で説き明かした。原本は失われているものの、「ベアトゥス写本（Beatus）」と呼ばれる多くの写本が製作され、中世の写本装飾の歴史において独自な位置を占めている。現在34点のベアトゥス写本の存在が確認されている。

スペイン国立図書館に所蔵されているサン・ミリャン修道院のベアトゥス写本は、その中でも最も古い時代のものである。そのオリジナル写本が、スペインの出版社Siloé社により、汚れやヴェラムの質感から銅板の留め金に至るまで、豪華ファクシミリ版として忠実に再現された。作物収穫など当時の生活を描いた数多くの魅力的な細密画が含まれており、スペインの初期中世時代の美術的特徴を色濃く伝えている。本写本は、12世紀から19世紀にかけてサン・ミリャン・デ・ラ・コゴヤ（San Millán de la Cogolla）の修道院に所蔵されていた。"Emilianense"とは「サン・ミリャン・デ・コゴヤ修道院の」という意味の形容詞である。

028「エスコラピオスの時祷書」付：解説巻

Libro de Horas de los Escolapios. Siglo XV.

限定898部

Approx. 400 pp. 220 x 150 mm.

Handcrafted binding in a red velour with silver claps and lockets, in a elm-root décor wooden case. With a study volume. Accompanied by a study volume.

Limited edition of 898 copies.

Burgos: Siloé, 2007. G.C.18057 (0240)

本文：ラテン語

サラゴサのエスコラピオス図書館所蔵 15世紀の時祷書

サラゴサ（スペイン）のエスコラピオス（ピアス学院）図書館が所蔵する至宝であり、珠玉のゴシック字体を誇る15世紀の時祷書のファクシミリ版。各ページは様々な形態と均等なゴシック文字や装飾頭文字に彩られている。彩り美しく彩飾された細密画も豊富に収められ、芸術的に極めて高い評価を得ている写本を、その彩色や質感など、忠実に再現している。

鮮やかな燕脂色のベルベットのカバーには、豪華な真鍮の装飾と留め金が付いており、さらにこのファクシミリ版にふさわしい木箱に収められている。

029「1493年　聖母マリア団規範書」付：解説巻　ブルゴス大聖堂所蔵

Regla de la Cofradía de Nuestra Señora de la Creaçon, 1493.

限定898部

Burgos Cathedral.

307 x 216mm. Hand-crafted binding, in a conservation case, with a volume of studies.

Limited edition of 898 copies.

Burgos: Siloé, 2001. G.C.18059 (0240)

本文：ラテン語

ブルゴス大聖堂所蔵の至宝

15世紀当時最も影響力があり、教会の聖職者や司教、そして国王までもがメンバーとなっていた組合、聖母マリア団（La Cofradía de Nuestra Señora de la Creaçon）。本書はその組合規範書を含む写本のファクシミリ版。本写本について特筆すべきは美しく精巧な細密画で、構成や背景にはフランドル地方の技術的影響がうかがえる。その図版の持つ芸術性は、当時最も人気のあった時祷書の特長をよく表現している。その彩り豊かな彩色はもちろん、シミや書き込み、破れた箇所や質感にいたるまで忠実に再現し複製している。

030「聖オルバン詩篇」付：解説巻　ヒルデスハイム大聖堂図書館所蔵

Il Salterio di St. Albans.

限定 750 部

428 pp. incl. 300 commentary pages, 42 full page illus. and 211 initials. 290 x 205 mm.
With a commentary volume in Italian.
Clothbound: A full leather handmade cover and headbands, in a case made of precious leather.
Limited edition of 750 copies.
Rome: Treccani (Istituto della Enciclopedia Italiana), 2007. G.C.17968 (0270)

本文：ラテン語（解説：イタリア語）

ヨーロッパ書物史に名を残す写本

ヨーロッパ史における最も重要な写本のひとつと言われている「聖オルバン詩篇」は、女性の隠者 Christina of Markyate（c.1096-1155）および聖オルバン修道院長 Geoffrey de Gorhamに捧げられ、12世初期イングランドで製作されたものである。今日ヒルデスハイムの大聖堂図書館に所蔵されているオリジナル写本が、イタリア百科事典の出版で有名な Treccani社により、豪華ファクシミリ版として忠実に再現された。本写本は以下の5項目から成っており、英国ロマネスク絵画の繊細な特徴を取り入れた美しい細密画でキリストの生涯や古フランス語の世俗歌曲等が描かれている傑出した写本である。

・キリスト教典礼の暦
・キリストの生涯を描いた細密画
・聖アレクシス歌曲、フランス語による教皇グレゴリオ書簡、エマオにおけるキリストの 3 枚の絵、善悪に関する談話、および詩篇の開始を示す B の文字を含む折丁
・詩篇・祈祷・雅歌集
・聖オルバンの殉教と音楽家としてのダビデの二つ折り画

031「ハインリヒのミサ典礼書」付：解説巻

ニューヨーク・ピアポント・モルガン図書館所蔵

限定 280 部

Das Hainricus-Missale.

Monastery of Weingarten, around 1217. New York, Pierpont Morgan Library, Ms M.711.
Complete colour facsimile edition of the 296 pages (148 fol.) in the original format of 242 x 172 mm. All leaves are trimmed in accordance with the original. 5 full-page miniatures with gold background, two full-page and more than thirty initial letters with gold.
Binding: blind embossed leather binding with two clasps and five genuine raised bands. The facsimile is wrapped into blue cloth and presented in a box made of cherry wood.
First commentary volume: Edited by Hans Ulrich Rudolf (Weingarten). Articles include description of contents, history of origin and illumination. 112 pages, cloth binding with gold blocking.
Limited 280 copies.
Graz: ADEVA (Adademische Druck u. Verlagsanstalt), 2005. G.C.18415 (0270)
本文：ラテン語

金銀に彩られたドイツ・ロマネスク写本美術

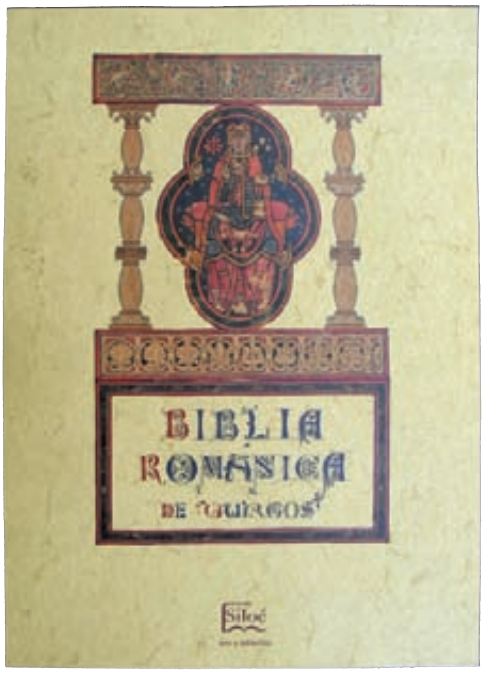
1217年にドイツのワインガルテンにおいて製作された典礼書のファクシミリ版。美術に対して深い造詣を持っていたベネディクト会大修道院長ベルトルトは、ワインガルテンの大修道院の写字室のスポンサーとなった。製作に関わった人々の名は明らかになっていないが、本書は、当写字室にて1217年に製作された典礼書である。その後、約600年の期間を経て初代レスター伯に購入されたが、その100年後にアメリカの5大財閥の1つであるモルガン財閥の創始者のジョン・ピアポント・モルガンに売却され、現在までその図書館にて所蔵されている。

本典礼書の最大の特徴はドイツ・ロマネスク様式の装飾のクオリティの高さである。5点のフルページの細密画、2点のフルページの装飾頭文字、24点の円形模様の暦など、数多くの装飾頭文字は聖書のエピソードを生き生きと描いており、渦巻き模様や動物などが見事なデザインで施されている。また、本ファクシミリ版では、原書の浮き彫り装飾付きの木製カバーも再現している。

032「12 世紀ブルゴス聖書」 ブルゴス州立図書館所蔵
Biblia Romanica de Burgos. Siglo XII.

限定 999 部

(Selection of 32 folios)
From the scriptorium of San Pedro de Cardes, circa 1175.
33 folios in a conservation case (530x370mm).
Limited edition of 999 copies.
Burgos: Siloé, 2005. G.C.18061 (0240)
本文：ラテン語



ヨーロッパ・ロマネスク様式の最高傑作

ブルゴス（スペイン）のサン・ペドロ・デ・カルデーニャ修道院の写字室にて1175年ごろに製作され、現在ブルゴス州立図書館に所蔵されているブルゴス聖書のファクシミリ版。本聖書を彩っている細密画は、ヨーロッパにおけるロマネスク様式の最高傑作とも言われている。この聖書の美しい32枚のフォリオ版ページとブルゴスのラス・ウェルガス修道院からの2枚の断片をまとめた1ページ、計33ページを厳選し、原典に極めて忠実にファクシミリ版にて再現した。その彩色はもちろん、シミや書き込み、破れや劣化した箇所にいたるまで完璧に再現し、観音開き仕様の荘重な函に収めた。

033「ルイ 9 世の聖書」付：解説巻

トレド大聖堂、ニューヨーク・ピアポント・モルガン図書館所蔵

限定 987 部

Biblia de San Luis (The Bible of St. Louis).

Ms. M240. Santa Iglesia Catedral Primada, Toledo & Pierpont Morgan Library, New York.
3 volumes (42x32cm) in hand-crafted leather case, with 2 commentary volumes (Vol. I:511p.; Vol. II:496p.)
1230 pp. 4887 medallions containing illuminated scenes of biblical history.
Limited edition of 987 copies.
Barcelona: M. Moleiro Editor, 2008. G.C.17992 (0270)

本文：ラテン語

多数の彩色挿画を持つ聖書写本

本書は、13世紀カペー朝期フランスが支配していた地域の有力者のために製作された聖書写本のファクシミリ版。彩色挿画本としては、聖書の歴史において最も野心的で成功した。

本写本は、ヨーロッパの写字室の伝統とは異なっており、所持者の権威を示すために極めて豊かに彩られた。特に、全1230ページに5,000点を超える聖書からのシーンを描いた挿画は比類無いものであり、本写本の類稀な特長となっている。また、各フォリオの片面は空白のままになっているが、それは装飾が膨大であったためである。パーチメントの場合は顔料がページの裏面へ浸み込み用紙のよじれを引き起こすため、両面に多量の塗料や金箔を施すことができなかったので、その唯一の解決策として、片面を空白にしたという事情があった。

本文にも独特な特徴があり、文面は聖書の全文から選択されたものであり、当時の神学者たちの解説を伴って構成されている。それら解説は本写本をきわめて重要かつ独特なものに仕上げている。

034「グーテンベルク聖書」 ポーランド・ペルプリン神学校図書館所蔵
[Gutenberg, Johann] Biblia Gutenberga: Egzemplarz Pelplinski.

限定 198 部

Folio (402 x 289 mm). 640 ff. (Vol. 1: 324; Vol. 2: 316).
Full-color facsimile of the Pelplin Gutenberg Bible. Initials illuminated by hand; bound in blind-stamped full goat leather over oak boards, raised spines, brass bosses and clasps; both volumes contained together in a specially made leather suitcase.
Pelplin (Poland): Wydawnictwo Diecezji Pelplinskiej "Bernardinum", 2003. (0511)
本文：ラテン語

「稀書中の稀書」といわれるグーテンベルク42行聖書。その稀少さと文化的・財産的価値の高さから、現存本の中には数奇な運命をたどったものも少なくない。わけてもポーランドのペルプリン神学校図書館に所蔵される 2 巻本の42行聖書は、第二次大戦前夜 から戦後にかけてナチ軍や共産主義政府による略奪の危険から逃れるために、ポーランド、イギリス、パリ、カナダ、そしてまたポーランドへと 4 ヵ国をさまよった希有な歴史をもつことで知られる。グーテンベルクによる聖書印行の550周年にあたる 2003年、ポーランドの愛国者たちが守り抜いたこの貴重なグーテンベルク聖書の完全ファクシミリ版がペルプリン司教座印刷局《Bernardinum》より刊行された。

用紙は原本同様の透かし入り、頭文字や装飾部分は手作業で再現され、装丁は原本の正確なレプリカとなっており、加えて、ペルプリン本がたどった数奇な運命を記念するため、1939年に聖書をペルプリンから持ち出す際に用いた革製スーツケースのレプリカに収められている。

035 ヴェラム刷「グーテンベルク 42 行聖書」 リーフ 3 葉　ハンティントン図書館所蔵
A Triptych of Illuminated Leaves on Vellum from the Huntington Library's Gutenberg Bible.

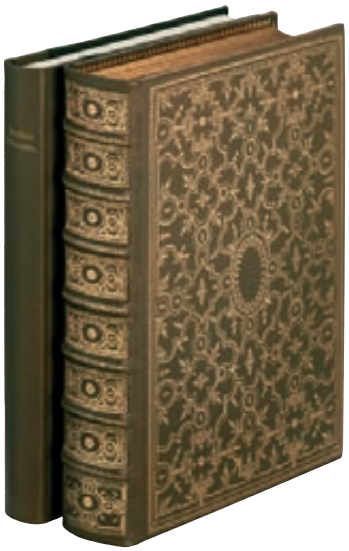
3 leaves.
ヴェラム 3 葉：特製たとう（中性紙使用）入り　本文：ラテン語
解説：T.V. ランゲ（ハンティントン図書館）470x350 mm　上製
本文：日本語・英語・ラテン語
雄松堂　1997 年刊　G.C.17098 (0821)

在庫

グーテンベルク42行聖書はいうまでもなく活版印刷により最初に印刷された本の中の本である。1450-1455年頃、マインツでヨハン・グーテンベルクとヨハン・フストが共同で印刷したもので、160から 180 部が印刷されたと推定されており、不完全本をあわせてヴェラム刷12、紙刷36の計48点が現存している。今回のファクシミリ版は、最高の美しさを誇るハンティントン図書館所蔵ヴェラム刷42行聖書を底本に使用し、旧約、外典、新約の一部をヴェラムに高精細印刷で再現したものである。特に装飾の美しい3葉（雅歌、バルク書、使徒言行録）を選び、解説には、本文ラテン語翻刻・英語版・日本語版および、トマス・V・ランゲ（ハンティントン図書館）による解説（英文）を収録。

036「ベリー公の美わしき時祷書」付：解説巻　ニューヨーク・メトロポリタン美術館所蔵
Les Belles Heures du Duc de Berry. (The Belles Heures of Jean Duke of Berry.)

Metropolitan Museum of Art, New York, The Cloisters Collection, 1954, Acc. 54.1.1.



原　本：ニューヨーク・メトロポリタン美術館クロイスターズ分館所蔵写本 54.1.1 番「ベリー公の美わしき時祷書」

ファクシミリ巻：238x170 mm、フルカラー、224 葉（448 頁）、総革装（金押し模様入り）
付属解説巻（2 巻）（分売不可）：

第 1 巻：エーベルハルト・ケーニッヒ博士 ベルリン自由大学（独文による解説） 背革装、238x170 mm

第 2 巻：エーベルハルト・ケーニッヒ博士 ; ガブリエル・バルツ（独文による解説） クロス装、238x170 mm

付　録：ミラード・マイス、エリザベス・H· ビートソン、 ジョン・プラマー（英文による解説）紙装 238x170 mm（分売不可）

Faksimile Verlag Luzern 社（スイス） 2003 年刊 G.C.15099 (0240)

本文：ラテン語

在庫

ベリー公ジャンの名宝、ランブール兄弟の傑作

美術収集家として名高いフランス王弟ベリー公ジャン（Jean de France, Duc de Berry, 1340-1416）が、15世紀初頭にその寵愛する画家ランブール兄弟（Pol, Herman, & Jehanequin de Limbourg, fl . 1399-1416）に作らせた彩飾写本『ベリー公の美わしき時祷書』を、縁飾りの細かな金箔装飾にいたるまで忠実に再現したファクシミリ版。ランブール兄弟による優美を極める172点の細密画は、ゴシック期写本装飾の頂点をなすものである。

ランブール兄弟がベリー公のために手がけたとされる時祷書は、本作およびコンデ美術館に所蔵される『ベリー公のいとも豪華なる時祷書』の 2 作が知られるが、後者が公の死により未完に終わり、後に別の画家によって手を加えられたのに対し、本作はランブール兄弟が完成させた唯一の作品とされる。「美わしき時祷書」という呼び名は、1413 年のベリー公の蔵書目録の「いとも素晴らしく豪華に装飾された、美わしき時祷書」（“Unes belles Heures, très bien et richement historisées”）という記述に由来する。ベリー公が作らせた時祷書としては上記のほか、『ベリー公のいとも美しき聖母時祷書』（パリ国立図書館）、『ベリー公の大時祷書』（パリ国立図書館）、『トリノ＝ミラノの時祷書』（トリノ市立美術館）などが知られるが、ランブール兄弟による 2 作は中でも国際ゴシック様式の精華を示すものとして特別な評価が与えられている。

本ファクシミリ版はかつて『ベリー公のいとも豪華なる時祷書』（絶版）などを手がけたことで知られるスイスのFaksimile Verlag Luzern 社がメトロポリタン美術館秘蔵の写本を、原本のデリケートな色彩や 細かな金箔、装丁の金押し模様までも忠実に複製したもので、同館における原本の修復作業にともなう形で初めて実現した企画である。付属の解説巻（2 巻）には、ドイツ自由大学のエーベルハルト・ケーニッヒ博士による解説が収録され、ファクシミリの鑑賞をさらに深めることができる。

037「ラス・ウエルガス修道院のベアトゥス黙示録」
ニューヨーク・ピアポント・モルガン図書館所蔵

限定 666 部

Apocalipsis de San Juan. Beato de Liebana. Monasterio de las Huelgas.

Pierpont Morgan Library, New York, M.429.
With approximately 368 pages, 90 of these with miniatures, gilt and silverwork; plus a second study volume. 520 x 364 mm.
Limited facsimile edition of 666 copies.
Valencia: Scriptorium S.L., 2003. G.C.18432 (0270)

本文：ラテン語

最も新しく、もっとも大型のベアトゥス黙示録

ベアトゥス写本の中でも1220年という最も遅い時期に製作された最も大型の、ヨハネの黙示録に関する約70点の装飾画とダニエル書の聖ヒエロニムスによる解説に伴う10点の細密画を含む写本のファクシミリ版。また、創世記、東方三賢王の礼拝やキリストの顕現（マイエスタス・ドミニ）、エルサレム破壊における攻防などの場面、伝道者たちの肖像と共に、系図や追加解説も含んでいる。

レオン王国の王（在位：1065-1109）およびカスティリャ王国の王（在位：1072-1109）を務めたアルフォンソ6世（Alfonso VI, 1040-1109）により創設されたトレドのサン・クレメンテ修道院の蔵書であった。フェルナンド3世の母でありアルフォンソ8世の妹であったベレンゲラ（Berenguela, 1180-1246）の依頼により製作され、大天使聖ミカエルの存在やダニエル書のエルサレム破壊の装飾画における戦争への暗示から、ナバス・デ・トロサの戦いの勝利を祈願して寄贈されたと考えられている。

038「ベアトゥス黙示録　カルデーニャ写本」付:解説巻
スペイン国立考古学博物館ほか所蔵
Cardeña Beatus.

Codex of the Monastery of San Pedro de Cardeña. Written in Carolingian gothic script between 1175 and 1185.
290 pages, , 51 illuminations decorated with gold. 445 x 300 mm. With commentary volume (368 p.).
The folios, in excellent condition, are housed in the Museo Arqueol-ógico Nacional, Madrid (127 ff.), the Francisco de Zabá lburu y Basabe Library, Madrid
(2 ff.), Museu Diocesá, Gerona (1 f.) and the Metropolitan Museum of Art, New York (15 ff.).
Bound in tanned hide. Leather case.
Barcelona: M. Moleiro, 2001. (0270)　本文：ラテン語

甦ったベアトゥス写本の逸品

1175 年から 1185 年の間という比較的遅い時期に作成されたベアトゥス写本の中のひとつであり、最も豪華でクオリティの面で評価の高いカルデーニャ写本のファクシミリ版。

51点におよぶ細密画は極めて美しく、本書の製作に関わった装飾画家たちの技術の高さと繊細さ・緻密さを物語っており、赤・青・緑の色調が金箔の輝きと一体化した活気のある鮮やかな図像と、熟練した写字生による文章とが完璧な調和を作り出している。1871年に不完全な状態でスペイン国立考古学博物館の蔵書となったが、この度、バルセロナの出版社M. Moleiro社によって、分散している現存の全ての断片が集められ、ファクシミリ版として甦った。

039「オヴィエドの聖書」付：解説巻　メトロポリターナ大聖堂所蔵

限定987部

Liber Testamentorum Ecclesiae Ovetensis.(El Libro de los Testamentos).

2 vols. (facsimile and text). pp. (236) facsimiled plates. With 13 miniature (7 full page). 22.5x38cm. original brown calf, richly panelled and stamped in blind, raised bands, with metal clasps and catches, preserved in mauve moir cloth clamshell box. With a Spanish commentary volume.
Barcelona, M. Moleiro Editor, 1994. (0271)

本文：ラテン語

在庫１セット限り

現在オヴィエドのメトロポリターナ大聖堂に所蔵される聖書で、オヴィエドの司教ドン・ペラーヨの依頼で1109年から1112年の間に制作された写本のファクシミリ版。彩飾者は不明であるが、流麗な美しさを備えた細密画と西ゴート文字の細長いテキストが調和した画面構成によって、本書はスペイン・ロマネスク写本史上の傑作の一つとなっている。この写本にはまた、歴代の王や教皇からオヴィエドの大聖堂に与えられた寄付や特権に関する87点の文書が含まれている。スペイン語解説書付。

040「エチミアジン古写本」付：解説巻　マテナダラン古文書館所蔵
The Codex Etchmiadzin.

Armenia, around 989. Eriwan, Mashtots Matenadaran, Cod. 2374.
Complete colour facsimile edition of the 464 pages (232 fol.) in their original size of approx. 345 x 260 mm.
With Commentary volume: Heide und Helmut Buschhausen, Vienna. Detailed scholarly commentary on contents, structure, history of origin and the significance of the codex with respect to history of art and liturgy and the ivory cover.
Graz: ADEVA (Akademische Druck- u. Verlagsanstalt).
本文：古アルメニア語

〈豪華版〉　限定 150 部　象牙細工の表紙付
De luxe edition. Reproduction of the original ivory cover; facsimile and commentary in a box.
Limited edition: 150 copies, numbered by hand. (0270)

〈革装丁版〉　限定 100 部
Leather Edition. Hand made leather cover; facsimile and commentary in a slip case.
Limited edition: 100 copies, numbered by hand. (0270)

象牙に護られたキリスト教の起源

1920年以来、アルメニア共和国の首都であるエレバンのマテナダラン古文書館には、世界で最も貴重な写本の一つである、アルメニア教会の長カトリコスからの永久貸出品が所蔵されてきた。その写本は、かつて保管されていた場所の名称からエチミアジン古写本（Codex Etchmiadzin）と名付けられている。

本書の宗教・芸術・学術面からみた傑出した価値は、初期キリスト教文献特有の文書および挿絵にある。この福音書のテクストは、989年にエレバン東南のブレン地方にあるノラバンク（Noravank）修道院で書かれたが、精度の高さ、言葉の美しさ、様式の純粋さにおける価値から「聖書翻訳の女王」と証される、5世紀前半の古代アルメニア語訳聖書の忠実な写本と考えられている。聖書記録の前にある15ページの挿絵はさらに前の時代のものであり、4世紀前半にカエサリアのエウセビウス（Eusebius）が自らの福音書の翻訳書のために考案し、その後も同種の全ての写本の製本形態に採用されることとなった装飾様式を、きわめて忠実に反映している。

一方で、羊皮紙の紙片の中に縫いつけられ、この写本の巻末に製本された2ページは、本書の芸術性と宗教性の頂点を成している。これら2つの見開きは7世紀の福音書に由来し、「受胎告知」、「ザカリヤへの告知」、「東方三博士の礼拝」、「キリストの洗礼」から成る4点の装飾を配置している。そのヒエラティック（古代神官文字）と細密画は、アルメニア装飾本の最古の例である。また、6〜7世紀頃のものと思われる見事な象牙製のカバーは、12世紀の修復以来この重要な写本を護り続けてきた証である。

アルメニア国外不出の、稀少な写本の一つである。

041 本邦キリシタン布教関係資料　復刻版「プティジャン版集成」第Ⅰ期

限定100セット

全23点　1865（元治2年）－ 1873（明治6年）　分売不可
解説（高祖敏明著）付　A5判　196頁　＊解説のみ別売可
雄松堂　2011-12年刊行　G.C.18063 (0821)

在庫

幕末から明治にかけて禁教下の日本で秘密裏に出版された最後の〝キリシタン版〟

フランス人宣教師プティジャン（Bernard Thadée Petitjean 1829－1884）が、大浦天主堂で隠れキリシタンと出会ったのは1865年（元治2年）のことであった。来たる2015年にこのいわゆる「信徒発見」から150周年を迎えるにあたって、「秘密出版物」と言われ、今日では入手困難の貴重書である「プティジャン版」をできる限り原典に近い形で復刻した。禁教下での迫害と潜伏の時代に信仰を継承してきた、キリシタンたちの信仰生活のために出版されたこれらは、旧来のキリシタン版を手直ししたり利用して刊行したキリスト教入門書や祈祷書、要理書はじめ、プティジャン司教の書簡等が含まれる。今回は、信徒発見の1865年から禁教令が廃止となった1873年（明治6年）までに出版された23点を刊行。

No.	書　名	発行年
1	聖教要理問答	1865
2	Niffon no Cotoba ni Yô Confesión	1866
3	聖教初学要理	1868
4	聖教日課	1868
5	天主降生千八百六十八年歳次戊辰瞻礼記	1868
6	御出世以来千八百六十九年明治二己巳歳御祝日付	1869
7	御久類寿道行のおらしよ	1869
8	胡無知理佐无の略	1869
9	とがのぞき規則	1869
10	玫瑰花冠記録	1869
11	夢醒真論	1869
12	弥撒拝礼式	1869
13	聖教初学要理	1869
14	ろざりよ十五のみすてりよ図解	1871
15	聖教日課	1871
16	プティジャン司教の司牧書簡	1871
17	教皇ピウス九世書簡	1872
18	聖教初学要理	1872
19	煉獄説略	1872
20	くるすのみち行	1873
21	御婆通志与	1873
22	洗滌之秘跡之事	1873
23	聖経（教）理証	1873

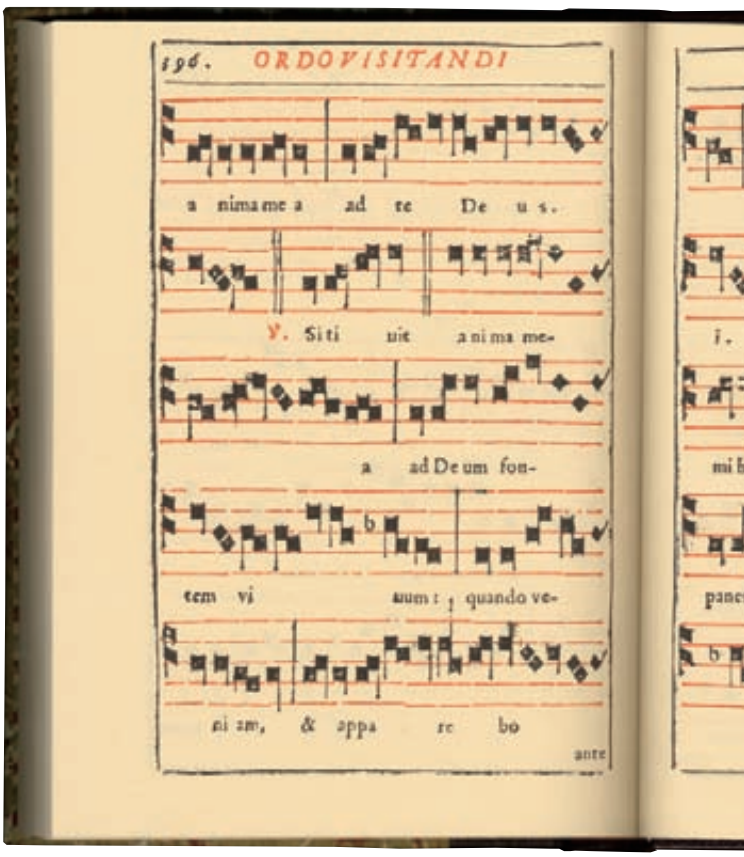
042「キリシタン版精選」付：解説巻
マルチャーナ国立図書館（イタリア）・イエズス会日本管区・上智大学キリシタン文庫所蔵

Kirishitan Publications Printed by the Jesuit Mission Press in Japan.
Facsimile edition of rare original volumes held by Kirishitan Bunko, Sophia University, Tokyo; The Japanese Province of the Society of Jesus, Tokyo; Tenri Central Library, Tenri and Biblioteca Nazionale Marciana, Venice.
全 3 点　4 冊　解説（高祖敏明著　和文・英文）付き
ISBN: 978-4-8419-0424-6 (set)
雄松堂　2006 年刊　G.C.16879 (0821)　在庫

ザビエルが天文18年（1549）にキリスト教を伝えてから徳川幕府による鎖国の完成までの約 1 世紀の間、日本におけるキリスト教布教に最も活躍したのはイエズス会であった。その布教活動の一環として、巡察使ヴァリニャーノの主導により天正18年（1590）に招来した西洋式活版印刷機を用いて、イエズス会は伝道に必要な教義書、日本語を研究するための文学書や辞典類を刊行した。これらが今日キリシタン版と呼ばれる刊行物で、世界に現存するものは30余種70数点が確認されている。なかでも稀少な3点を選んで復刻した。

SANCTOS NO GOSAGVEO NO VCHI NVQIGAQI
（サントスのご作業の内抜書）

全 2 巻　合本 1 冊　1591 年　加津佐
日本語（ローマ字）
原本：マルチャーナ国立図書館蔵
ISBN 978-4-8419-0420-8



ぎやどぺかどる (GVIA DO PECADOR)

全 2 巻　1599 年　長崎　日本語（国字）
上巻　和装幀　原本：天理図書館蔵
ISBN 978-4-8419-0417-8（分売不可）
※「キリシタン版精選」全巻セットでの販売のみとなります。
下巻　洋装幀　原本：イエズス会日本管区蔵
　付「おらしよ断簡」
ISBN 4-8419-0418-5

MANVALE AD SACRAMENTA ECCLESIAE MINISTRANDA
（サカラメンタ提要）

1605 年　長崎　ラテン語・ローマ字
原本：上智大学キリシタン文庫蔵
ISBN 978-4-8419-0419-2